

平成18年3月修了
修士（学術）学位論文

電磁雑音対策技術分野における
新市場創造に関する研究

A study on new market creation: a case of electro
magnetic compatibility countermeasure technology
for IT security market

平成17年12月16日

高知工科大学大学院 工学研究科 基盤工学専攻 起業家コース

学籍番号：1085604

植草 祐則

Hironori Uekusa

論文要旨

本研究は、情報セキュリティ市場に対して、「電磁波による情報漏洩」というキーワードで新たな市場を創造する過程と、そこで生まれた超低放射雑音 PC の開発背景、偶然発生した本来の EMC¹業界としてのニーズに対するビジネス構築を通じて、当初予定したマーケットとの整合やプロジェクト運営、経営的判断の方向を検証する事で、その発生要件と活用方法を見出そうというものである。

ともすれば都市伝説的扱いであった「電磁波による情報漏洩」を「電磁波セキュリティ」というキーワードで可視化、市場化し、既存の EMC 業界だけでなく、個々に散在していた素材メーカーや機器メーカーを含めた市場構築は起業という観点から注目すべき内容であると考えた。

ここでは日本国内での関心がほとんど無い状況からスタートして一定の規模まで構築しており、この手法の分析、そこに投入した製品の素性と応用手法、結果の分析から「市場に製品を合わせるか、製品が受け入れられる市場を構築するか」という大きな判断と、そもそも軍事技術に端を発する課題であるが故の情報の少なさを如何にして補い構築出来たのかという要因を分析する。

次に、構築した電磁波セキュリティ市場に投入するべく開発を開始した超低放射雑音 PC について、当初の開発目的と市場の反応から偶然産まれた用途、市場と、客観的に見た技術の向上による元の市場への回帰現象についてピーター・ドラッカー氏のイノベーション論などによる分析を行い、今後のアプローチを検討するとともに、このような場合において適用される市場構築のモデルを提案する。

¹ Electro Magnetic Compatibility :電磁環境両立性、主に電子機器類の電氣的放射雑音対策や、外部からの雑音による機器への影響の対策を主とする。日本では VCCI (情報処理装置等電波障害自主規制協議会) が自主基準として定めている